

## Communication in English

1 unit (required selection (C))

Teacher of Electrical and Electronic Engineering, Leminh Luc. · PART-TIME LECTURER / GEOS, Christine Clifford-Elizabeth. / GEOS

**Target)** 国際化, グローバル化した現代では, 専門分野の事項についても, 英語による情報を取得したり, 英語で表現したりする必要性がますます高まってきた. この授業では, 電気電子工学における英語の能力を「聞く」「話す」「読む」「書く」の各領域にわたってバランスよく向上させることを図る.

**Outline)** クラスの半数の学生には, 前期に「聞く」「話す」の領域の授業を行い, 後期に「読む」「書く」の領域の授業を行う. 残りの半数の学生には, 前期と後期の内容を入れ替えた授業を行う. 「聞く」「話す」の領域の授業は更にクラス分けし, 英語のネイティブ・スピーカーの非常勤講師と電気電子工学科教員が共同してあたり, 電気電子工学の基礎的事項についての会話・長文聞きとり・スピーチなどを行うための基本的能力を向上させる. 「読む」「書く」の領域の授業は, 電気電子工学科教員が担当し, 専門分野の基礎的事項(電気磁気学・電気回路)の英文テキストを輪読するとともに, それらの英作文の授業も行う.

**Keyword)** 英語会話, 専門英語, TOEIC

**Goal)**

1. 電気電子工学の基礎的事項に関して英語によって会話, 聞きとり, スピーチなどを行うための基本的能力を修得する.
2. 電気電子工学の基礎的事項に関する英文読解, 英作文のための基本的能力を修得する.

**Schedule)** 1~15 「聞く」「話す」の領域の授業(適宜, 到達目標1の評価のための小テストを行う), 16 「聞く」「話す」の領域の期末試験(到達目標1の評価), 17~31 「読む」「書く」の領域の授業, 32 「読む」「書く」の領域の期末試験(到達目標2の評価), または 1~15 「読む」「書く」の領域の授業, 16 「読む」「書く」の領域の期末試験(到達目標2の評価), 17~31 「聞く」「話す」の領域の授業(適宜, 到達目標1の評価のための小テストを行う), 32 「聞く」「話す」の領域の期末試験(到達目標1の評価)

**Evaluation Criteria)** 「聞く」「話す」の領域では小テスト40%, 期末テスト40%, 平常点20%で評価を行う. 「読む」「書く」の領域では試験80%, 平常点20%で評価を行う. 「聞く」「話す」の成績と「読む」「書く」の成績の平均が60%以上あれば合格とする.

**Relation to Goal)** (B)[主目標] 社会情報 100%

**Textbook)** 特製テキストを用いる.

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215663>

**Student)** Able to be taken by only specified class(es)

**Contact)**

⇒ Ao (EE A-8, +81-88-656-7442, [jpao@ee.tokushima-u.ac.jp](mailto:jpao@ee.tokushima-u.ac.jp)) MAIL

**Note)** 授業を受ける際には, 2時間の授業時間毎に1時間の予習・復習をしようとして授業を受けることが, 授業の理解と単位取得のために必要である.